



# VLOOKUP の使い方 【応用編】

## エラーを非表示にする数式の作り方

「=」は  
コピーしない

数式をコピー  
& 削除

テスト結果		集計表	
A	B	C	D
1	出席番号		出席番号
2	1		1
3	2	100	2
4	3	60	3
5	4	70	4
6			5

数式を削除せずに  
「fx」をクリックすると  
VLOOKUPの設定画面  
が立ち上がってしまう

VLOOKUP  
を先に作成

「IFERROR」  
を入力

関数名(N): IFERROR

関数の説明: IFERROR(値,エラーの場合の値)  
式がエラーの場合は、エラーの場合の値を返します。エラーでない場合は、式の値自体を返します。

「IFERROR」  
を選択

「=」が無いことを確認

「VLOOKUP(D2,A:B,2,FALSE)」を貼付

値: VLOOKUP(D2,A:B,2,FALSE)

エラーの場合の値: ""

「""」を入力

OK